

南あわじ市 平成 20 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 事業 委託 補助用)

## I 基本事項

整理番号 568

事業名	ごみ袋購入		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	市民生活部	生活環境課		款	衛生費・4款
電話	0799 - 43 - 5024			項	清掃費・2項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	ごみ処理費・2目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり__元気あふれ__住んで快適なまちづくり__			
	まちづくりの目標	子どもを産みたい__育てたいまち(子育て)			
	施策目標	ゴミのない清潔感あふれる安らぎの住環境をつくる			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助	

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		可燃ごみを処理しようとする市民	対象人数(人) 52,888
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 市指定可燃ごみ袋販売によりごみ処理手数料を徴収し、負担の公平性を保ちながら、併せてごみの減量化を推進し、環境保全を図る。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 入札の条件を検討し、ごみ袋を現在の強度・利便性を維持しつつ、できるだけ安く購入する。	
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 旧町時代からのごみ処分手数料を徴収する仕組みとして市指定のごみ袋制度が引き継がれている。近年、環境省からも「一般廃棄物処理の有料化の推進を図るべき」との方針が示されている。	
	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ( )	
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から ごみ袋サイズについては旧緑町45サイズのみ、旧西淡、三原、南淡町は45サイズと30サイズがあった。合併に際しては、住民それぞれの生活形態を考慮して45サイズと30サイズの2種類を市指定ごみ袋として採用した。		

## Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	ごみ袋購入枚数(大)				指標単位 枚
	指標説明 (指標算出方法等)					
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標値	900,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	
	実績値	1,712,489	1,617,511			
	達成度 (%)	190.3	147.0		-	
目標値設定の考え方						
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	ごみ袋購入単価(大)				指標単位 円/枚(税抜)
	指標説明 (指標算出方法等)					
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標値	14.00	10.00	12.50	12.50	
	実績値	9.71	10.80			
	達成度 (%)	69.4	108.0	-	-	
目標値設定の考え方						
資源配分 (インプット)			平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	直接事業費 (千円)		23,852	21,493	16,925	4,708
	ごみ袋購入費		23,852	21,493	16,925	4,708
	財源 (千円)					
	国		0	0	0	0
	県		0	0	0	0
	起債		0	0	0	0
	その他		0	0	0	0
	一般財源[A]		23,852	21,493	16,925	4,708
	人件費(正規職員)[B] (千円)		30	30	28	28
	平均人件費(1日当り)		29.9	30.1	27.9	27.9
	事業量1(事業に要した日数)		1	1	1	1
	事業量2(事業に要した人数)		1	1	1	1
	年間経費([A]+[B])		23,882	21,523	16,953	4,736
	「目的」対象人数1人当り経費 (千円)		0.5	0.4	0.3	0.1
	受益者人数(52,888)1人当り経費(千円)		0.5	0.4	0.3	0.1
	経費に関する補足説明	平成18年度1回目 大1,200,000枚 9.25円/枚 小480,000枚 6.42円/枚(税抜) 平成18年度2回目 大512,489枚 10.80円/枚 小400,000枚 7.50円/枚(税抜) 平成19年度 大1,617,511枚 10.80円/枚 小400,000枚 7.50円/枚(税抜)				

## IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
達成度	活動結果指標目標達成度	%	190.3	147.0	0.0	-
	(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) これまで各年度の入札予定価格以下の金額で契約できている。 しかし、今後原油価格高騰の影響を受け、ごみ袋の価格が上がっていくことは免れない。					自己評価 (5点評価) <b>4</b>
有効性	成果指標目標達成度	%	69.4	108.0	-	-
	成果向上率	%	-	11.2	-	-
	(事業実施による目的に対する有効性分析、問題点・課題などを記入。) 平成19年度のごみ袋販売実績(大)は1,125,520枚で限られた予算の範囲内で年間必要なごみ袋数は確保できている。					自己評価 (5点評価) <b>3</b>
効率性	活動実績1単位当り経費	千円	0.0	0.0	-	-
	効率性増減率	%	-	4.6	-	-
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 特に問題ないと思われる。					自己評価 (5点評価) <b>4</b>
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 市指定ごみ袋制度は利用者負担の観点から必要です。					自己評価 (5点評価) <b>4</b>
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 原油価格の高騰の影響を受け、今後は価格が どんどん上昇していくものと思われる。					<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>

## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成21年度にできる改善・改革	平成22年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	市指定ごみ袋制度は、利用者負担、ごみの減量化、環境保全等の必要性から継続していく。	原油価格高騰などの影響でごみ袋の買取価格は上がっていくものと思われる。よって、これまでと同程度の枚数を購入しながら経費節減に取り組むには限界があると思われる。
(現状維持以外の改善方法)		ごみ袋のパッケージ(外袋)を広告媒体として利用するなどして広告料収入を得る等して少しでも財源を確保できないか検討している。ただし、「ごみ出し後、広告が一般の人の目につきにくい。広告掲載の料金設定が難しい。」等の課題がある。
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
		広告料収入が入る
	コスト面	コスト面
		ごみ袋のパッケージ(外袋)へのプリントの際、大量同一プリントができないためのコストアップがあり得る。
(現状維持の場合も記入)	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)	
	ごみ処理手数料徴収の機会が無くなる。	